



cracion
life

クラシオン伊豆の国 & カフェ伊豆の国

近況報告

小さな畑から

今年は中庭に小さい畑を作り、キュウリ、トマト、ナスなどの野菜の苗を植えました。現在は大きく育ち、収穫した野菜を見てグループホームのご入居者が大変喜んでいます。採った食材は食卓に上がり、皆さんで美味しく頂きました。

備があれば憂いなし

グループホームで防災避難訓練を実施しました。今回は日中を想定したもので、職員は3名での対応になりました。緊急通報装置を使って通報し、消火、避難誘導を行いました。自分で歩くことが困難なご入居者も多いため、毛布の上に横たわり包んで移動する手法で、安全かつスムーズに避難することができました。

祝100歳

グループホームに入居7年目のご利用者が6月に100歳を迎えられました。スタッフでお手製のポスターを制作し、バースデーケーキとバースティーカード、お花をプレゼントさせて頂きました。ご家族の皆様もお見えになり、他のご入居者とスタッフと一緒に祝いしました。おめでとうございます。

IT'S SHOWTIME!

月に一回ボランティアの方々に施設にお越し頂き、様々なイベントを行っています。6月は手品が行われ、ティルームにてサービスのご利用者とグループホームのご入居者が一緒に参画し、驚きの連続に歓声を上げられていました。7月は踊りのグループの方々が見えて披露して頂く予定です。



NEWS & TOPICS

広がる友好の輪！国際交流



異文化交流と国際親善を目的とした学生交流大使プログラムに参加する米国の学生ら36名が6月29日から3泊4日の日程で伊東市を訪れ、ホームステイにより市内観光や地元高校生との交流などが行われました。

弊社代表のお宅にもキャロラインさんという女性がホームステイをされ、30日に伊豆介護センター本社にて“Welcome Party”が開かれました。スタッフやスタッフの子供さんも参加をして、日本食などを振る舞い、ゲームをするなどして楽しい時間を過ごしました。また、7月1日には本社の朝礼にも参加してもらい、日本語で自己紹介をされるなど様々な体験の中で相互交流を深めました。



～社長とたまにケーション～

月1研修会



Report

第75回 各部署研修

在) 移動・移乗の介護実技（自立と安全確保の動作の確認）
& 業務連絡方法についてのお知らせ

施) 平成24年度の施設目標達成発表会

« 2013年3月26・27日、本社3階 »



【在宅系】ベッド上での体位変換や移動、車いす移乗、車いすの基本操作を行いました。車いすの移動・移乗では戸惑うことも多く車いす操作の難しさを実感しました。基本を再確認することで普段の業務を振り返り、それぞれに足りない技術等を勉強することができます。経験の長短に問わらず、謙虚な姿勢で研修に取り組んでいきたいです。

【施設系】4年目を迎えた目標達成発表会も、各施設ならではの発想や工夫のある取り組みが写真や図を用いて報告されました。稻葉社長は総評で「職員がやりがいを持って取り組めることが大事。信頼関係を築きながら、新しい視点での活動にチャレンジしてほしい。」と話されました。

普段見ることの少ない他の施設の取り組みを知ることで、互いに気づかされることや参考になることが数多くありました。

第77回 各部署研修

在) 相手の立場や視点になってサービスを考えよう
～最新事例によるグループワーク～

施) 我が家で生き抜く～在宅終末医療のいま～

« 2013年5月27日・29日、本社3階 »



【在宅系】「接遇」をテーマにグループワークを行いました。

【言葉遣い】〔尊厳〕〔服装〕〔守秘義務〕〔計画内容の実施〕〔物品の取扱い〕などについて意見交換する中で、ご本人やご家族からの相談に対するは自己判断せず、まずは上司や担当のケアマネ・セーマネに報告

し、混乱を招かないよう配慮することを確認しました。これからも相手の立場になって、最良な判断の下で質の高いサービスを提供できるよう力をいれていきたいです。

【施設系】前回在宅系でも鑑賞した“終末医療”についてのDVDを見ました。

今いる前の前に何ができるのか、この人はどう生きていきたいのか、何をしたいのかを聞いかけていかなければならぬと改めて考えさせられました。家族・医療・介護が深く連携し一人のために皆が尽くす…その大切さを痛感した研修となりました。

【施設系】前年の目標を見直し、より進化させた取り組みやQOL向上を目標とするなど各施設ごと特色を生かしたチャレンジ精神に富んだ斬新な取り組みが見受けられました。

荻野課長は総評で「1年間継続して行うことが大切。“安心・安全・快適”を守り、皆で協力してがんばりましょう。」と施設間の結束を呼び掛けました。

第76回 各部署研修

在) 高齢者（障害者）の在宅サービスの流れを学ぶ
施) 平成25年度の施設目標設定

« 2013年4月24日・26日、本社3階 »

【在宅系】“終末医療”についてのDVDを鑑賞しました。

今いる前の前に何ができるのか、この人はどう生きていきたいのか、何をしたいのかを聞いかけていかなければならぬと改めて考えさせられました。家族・医療・介護が深く連携し一人のために皆が尽くす…その大切さを痛感した研修となりました。

荻野課長より「ターミナルケアは慎重に取り組む必要がある。ご本人が望む最期を迎えることができているのかを常に確認し、考えることが必要である。」と冒頭お話をありました。

「医療は介護と一緒にないと成り立たない」「家族に負担をかけずに在宅医療を行うのは難しい」等の緩和ケア専門医の言葉に共感し、今までとはまた違う視点で、自分には何ができるのだろうかと感じた研修でした。



知って防ごう！熱中症

連日暑い日が続いているが、熱中症で救急搬送されるというニュースなどが多く取り上げられ、「熱中症にご注意ください。」と呼びかけています。

特に乳幼児・小児は、体温の調節機能が十分でない、また、高齢者は加齢により体内の水分量が減少しているので脱水症状を起こしやすく、熱中症になりやすいのです。

7月～9月にかけて十分な注意が必要です。熱中症の正しい知識をもち、予防のポイントをしっかりとおさえて、熱中症による健康被害を防ぎ、夏を乗り切りましょう。



熱中症予防のポイント

※総務省消防庁ホームページ
熱中症対策リーフレット参照

▼部屋の温度をこまめにチェック！

▼室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！

▼のどが渇いたと感じたら必ず水分補給！

▼のどが渇かなくてもこまめに水分補給！

▼外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！

▼無理をせず、適度に休憩を！

▼日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！など



水分補給と暑さを避けることが大切です！